

平成17年3月期

個別財務諸表の概要



岡藤ホールディングス株式会社

上場取引所 会社名 JASDAQ

(岡藤商事株式会社)

コード番号 8705 本社所在都道府県 大阪府

(URL http://www.okato-holdings.co.jp)

役職名 取締役社長

> 氏名 加藤 雅一

問い合わせ先 責任者役職名 取締役

> 氏名 松井 政彦 TEL (03)5543-8705

決算取締役会開催日 平成17年5月20日 中間配当制度の有無 有

配当支払開始予定日 平成17年6月30日 定時株主総会開催日 平成17年6月29日

単元株制度採用の有無 有(1単元 1,000株)

1. 平成17年3月期の業績(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

(1)経営成績 (注)記載金額は百万円未満は切り捨てて表示しております。

	営業収益	営業利益	経常利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
17年3月期	8,971 (9.6)	526 (45.8)	572 (42.8)
16年3月期	9,920 (2.6)	970 (26.5)	1,000 (24.5)

	少世体利光			当期純利益			1 株当	たり	潜在株式調	整後	株主資本	総資本	売上高
	一 	加加		当期純	利益	1株当たり当期	期純利益	当期純利益率	経常利益率	経常利益率			
	百万円		%	円	銭	円	銭	%	%	%			
17年3月期	103	(57.8)	8	99	-	-	0.7	0.9	6.4			
16年3月期	246	(60.6)	22	62	-	-	1.6	1.7	10.1			

期中平均株式数 (注)

17年3月期

9,343,465株

16年3月期

9,782,564株

会計処理の方法の変更

無

営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2)配当状況

		1株当たり年間配当金 配当金総額 配当性向							
		ĺ	中間	引	期表	ŧ	(年間)	1 配当注的	配当率
	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
17年3月期	20	00	0	00	20	00	185	222.5	1.2
16年3月期	15	00	0	00	15	00	141	66.3	0.9

(3)財政状態

	総資産	総資産株主資本		1株当たり株3	主資本
	百万円	百万円	%	円	銭
17年3月期	60,143	15,648	26.0	1,681	55
16年3月期	63,688	15,751	24.7	1,670	27

(注) 期末発行済株式数 17年3月期 9,294,225株 16年3月期 9,415,581株 549,466株 期末自己株式数 17年3月期 670,822株 16年3月期

2. 平成18年3月期の業績予想(平成17年4月1日~平成18年3月31日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金					
	占未 収血	起市利益	当别能利益	中間		期末			
	百万円	百万円	百万円	円	銭	円	銭	円	銭
中間期	276	165	97	0	00				
通期	552	367	216			15	00	15	00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期)

21円76銭

平成18年3月期の業績予想につきましては、岡藤ホールディングス株式会社単体のものであります。また、1株当たり予想当期純利益(通期)の算定にあたりましては、平成17年4月1日付株式移転後の発行済株式数(9,965,047株) を用いて算出しております。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

個別財務諸表等

(1) 貸借対照表

		前事業年度 (平成16年3月31日) (i事業年度 17年3月31日))	対前年比	
区分	注記番号	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
資産の部								
流動資産								
1 . 現金及び預金	2		30,820,823			30,019,301		801,522
2 . 売掛金			-			5,206		5,206
3 . 委託者未収金			655,494			430,118		225,376
4 . 有価証券	2		446,303			-		446,303
5 . 商品			388,084			371,220		16,863
6 . 前払費用			4,132			876		3,255
7 . 保管有価証券	2		5,438,673			4,444,495		994,178
8 . 差入保証金			3,670,220			3,447,157		223,063
9.商品取引責任準備 預託金	3		796,545			778,801		17,744
10.委託者先物取引差 金	4		2,993,824			2,463,075		530,749
11.未収入金			329,809			452,183		122,374
12.未収消費税等			-			30,000		30,000
13. 繰延税金資産			522,171			478,611		43,560
14.その他の流動資産			182,078			89,480		92,597
15.貸倒引当金			24,600			26,500		1,900
流動資産合計			46,223,561	72.6		42,984,029	71.5	3,239,531
固定資産								
(1)有形固定資産								
1 . 建物	2	3,651,541			3,713,392			
減価償却累計額		931,180	2,720,360		1,034,623	2,678,768		41,591
2 . 車両		22,329			15,630			
減価償却累計額		11,783	10,545		9,334	6,295		4,250
3 . 器具及び備品		602,604			649,433			
減価償却累計額		338,605	263,999		386,488	262,945		1,053
4 . 土地	1,2		2,480,642			2,480,642		-
有形固定資産合 計			5,475,548	8.6		5,428,652	9.0	46,895

		前事業年度 (平成16年 3 月31日)	当事業年度 (平成17年 3 月31日)	対前年比
区分	注記 番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
(2)無形固定資産						
1.電話加入権		72,979		72,362		616
2 . ソフトウェア		353,483		605,006		251,522
3 . ソフトウェア仮 払金		214,020		15,750		198,270
4 . その他の無形固 定資産		7,813		35,135		27,321
無形固定資産合 計		648,296	1.0	728,253	1.2	79,957
(3)投資その他の資産						
1 . 投資有価証券	2	2,558,772		1,959,543		599,228
2 . 関係会社株式		1,821,281		1,858,993		37,712
3 . 出資金		262,980		193,349		69,631
4 . 長期特定金銭信 託等		2,536,105		2,505,504		30,601
5.破産債権、再生 債権、更生債権 その他これらに 準ずる債権		1,278,456		1,269,140		9,315
6 . 長期前払費用		62,098		55,048		7,050
7 . 長期差入保証金	2	889,714		1,158,135		268,420
8.投資不動産	1	27,454		27,454		-
9.会員権		331,553		280,711		50,841
10.繰延税金資産		601,760		676,567		74,806
11.再評価に係る繰 延税金資産	1	1,557,473		1,557,473		-
12 . その他の投資そ の他の資産		216,205		252,331		36,125
13.貸倒引当金		803,200		792,100		11,100
投資その他の資 産合計		11,340,656	17.8	11,002,153	18.3	338,503
固定資産合計		17,464,501	27.4	17,159,059	28.5	305,442
資産合計		63,688,062	100.0	60,143,089	100.0	3,544,973

		前事業年度 (平成16年3月31日)	当事業年度 (平成17年3月3	1日)	対前年比
区分	注記番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比(%)	増減 (千円)
負債の部						
流動負債						
1 . 委託者未払金		1,809,688		2,042,	240	232,551
2 . 短期借入金	2	708,252		550,	000	158,252
3 . 一年以内返済予定 の長期借入金	2	430,850		504,	000	73,150
4 . 一年以内償還予定 の社債	2	460,000		180,	000	280,000
5 . 短期借入有価証券		-		1,800,	000	1,800,000
6 . 未払法人税等		246,483		60,	102	186,381
7.未払消費税等		34,754			-	34,754
8.預り委託証拠金		32,563,405		29,978,	881	2,584,523
9 . 預り委託証拠金代 用有価証券		5,438,673		4,444,	495	994,178
10 . 未払金		298,434		451,	282	152,847
11.未払費用		71,053		73,	288	2,235
12.賞与引当金		321,046		271,	670	49,376
13.預り金		37,003		29,	463	7,539
14.株主、役員又は従 業員からの預り金		180,596		139,	223	41,372
15.その他の流動負債		544,962		271,	198	273,764
流動負債合計		43,145,204	67.7	40,795,	846 67.9	2,349,357
固定負債						
1 . 社債		1,090,000		1,310,	000	22,000
2 . 長期借入金	2	843,900		1,296,	000	452,100
3 . 長期借入有価証券		1,800,000			-	1,800,000
4 . 退職給付引当金		256,296		286,	912	30,616
5 . その他の固定負債		4,537		4,	777	240
固定負債合計		3,994,733	6.3	2,897,	689 4.8	1,097,043
特別法上の準備金						
1 . 商品取引責任準備 金	3	796,545		800,	820	4,274
特別法上の準備金 合計		796,545	1.3	800,	820 1.3	4,274
負債合計		47,936,484	75.3	44,494,	357 74.0	3,442,127

			ī事業年度 16年3月31日))	当 (平成1)	対前年比	
区分	注記番号	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	増減 (千円)
資本の部								
資本金	5		3,484,864	5.4		3,484,864	5.8	-
資本剰余金								
資本準備金		1,965,719			1,965,719			
資本剰余金合計			1,965,719	3.1		1,965,719	3.3	-
利益剰余金								
(1) 利益準備金		871,216			871,216			
(2) 任意積立金								
1.別途積立金		11,315,000			11,315,000			
(3) 当期未処分利益		702,974			640,711			
利益剰余金合計			12,889,190	20.2		12,826,927	21.3	62,263
土地再評価差額金	1		2,241,241	3.5		2,241,241	3.7	-
その他有価証券評価 差額金	8		88,287	0.1		48,815	0.1	39,472
自己株式	6		258,667	0.4		338,722	0.6	80,055
資本合計			15,751,578	24.7		15,648,731	26.0	102,846
負債・資本合計			63,688,062	100.0		60,143,089	100.0	3,544,973

(2) 損益計算書

(2) 摂血引昇音								
		(自 平原	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)			i事業年度 成16年 4 月 1 成17年 3 月31	目)	対前年比
区分	注記番号	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)		百分比 (%)	増減 (千円)
営業収益								
(1)商品先物取引事業収 益								
1.受取手数料	1	9,019,140			7,460,758			
2 . 売買損益	2	460,545			1,058,461			
3 . その他		336,339	9,816,025		274,193	8,793,414		1,022,611
(2) その他の営業収益			104,061			178,361		74,300
営業収益合計			9,920,087	100.0		8,971,775	100.0	948,311
販売費及び一般管理費								
1.取引所等関係費	3	331,043			371,326			
2 . 人件費	4	4,511,947			4,128,827			
3.調査費		142,948			171,357			
4.旅費交通費		229,585			226,723			
5 . 通信費		337,590			305,732			
6 . 広告宣伝費		424,439			428,676			
7. 地代家賃		542,814			547,177			
8.電算機費		1,176,255			969,057			
9.減価償却費		143,935			154,828			
10.貸倒引当金繰入額		65,417			6,600			
11 . その他		1,043,503	8,949,482	90.2	1,135,137	8,445,445	94.1	504,037
営業利益			970,604	9.8		526,330	5.9	444,274

		前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)			(自 平)	指事業年度 成16年 4 月 1 成17年 3 月31	日 日)	対前年比
区分	注記 番号	金額 (千円)	百分比 (%)	金額 (千円)	百分比 (%)	増減 (千円)
営業外収益								
1.受取利息		6,222			7,785			
2 . 有価証券利息		3,251			65			
3 . 受取配当金		61,761			67,576			
4 . 有価証券売却益		4,776			56,249			
5 . 組合事業投資利益		170,512			33,261			
6 . その他		51,514	298,039	3.0	88,008	252,946	2.8	45,093
営業外費用								
1.支払利息		135,583			130,646			
2.社債利息		14,556			14,557			
3 . 社債発行費		36,987			17,800			
4 . 貸倒引当金繰入額		10,956			-			
5 . その他		69,853	267,937	2.7	43,445	206,448	2.3	61,488
経常利益			1,000,706	10.1		572,827	6.4	427,878
特別利益								
1.固定資産売却益	5	-			349			
2 . 投資有価証券売却益		-			155,149			
3.貸倒引当金戻入益		-	-	-	5,800	161,298	1.8	161,298
特別損失								
1.商品取引責任準備金 繰入額		198,801			4,274			
2.固定資産売却損	6	1,754			-			
3.固定資産除却損	7	9,073			-			
4.投資有価証券売却損		-			77,600			
5.役員退職慰労金		-			123,200			
6.関係会社株式評価損		200,600	410,228	4.1	246,242	451,317	5.0	41,088
税引前当期純利益			590,477	6.0		282,809	3.2	307,668
法人税、住民税及び事 業税		437,752			237,514			
法人税等調整額		93,594	344,158	3.5	58,676	178,838	2.0	165,319
当期純利益			246,319	2.5		103,970	1.2	142,348
前期繰越利益			456,655			536,740		80,085
当期未処分利益			702,974			640,711		62,263
							<u> </u>	

(3) 利益処分案

		株主総会	業年度 会承認日 ○6月29日)	株主総会	≹年度 会承認日 6月29日)
区分	注記番号	金額(千円)		金額(千円)
当期未処分利益		702,974			640,711
利益処分額					
(1)配当金		141,233		185,884	
(2)役員賞与金		25,000		20,000	
(うち監査役賞与金)		(2,500) 166,233		(2,000)	205,884
次期繰越利益		536,740			434,827

重要な会計方針

= <u>Z</u> .62H/J3I			
項目	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	
1.有価証券の評価基準およ	子会社株式および関連会社株式	子会社株式および関連会社株式	
び評価方法	移動平均法による原価法	同左	
	その他有価証券	その他有価証券	
	時価のあるもの	時価のあるもの	
	決算期末日の市場価格等に基づく時	同左	
		四年	
	価法(評価差額は全部資本直入法に		
	より算定し、売却原価は移動平均法		
	により算定しております。)		
	時価のないもの	時価のないもの	
	…移動平均法による原価法	同左	
	なお、保管有価証券は商品取引所法施行	なお、保管有価証券は商品取引所法施行	
	規則第7条の規程により商品取引所が定	規則第7条の規程により商品取引所が定	
	めた充用価格によっており、主な有価証	めた充用価格によっており、主な有価証	
	券の充用価格は次のとおりであります。	券の充用価格は次のとおりであります。	
	対の元円1111日間に次のこのうでありより。 利付国庫債券	対付国庫債券	
	額面金額の80%	同左	
	(長期7%未満)	(長期7%未満)	
	社債券(上場銘柄) 額面金額の65%	社債券(上場銘柄) 同左	
	株券(一部上場銘柄) 時価の70%相当額	株券(一部上場銘柄) 同左	
	倉荷証券 時価の70%相当額	倉荷証券 同左	
2.たな卸資産の評価基準お	商品	商品	
よび評価方法	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	同左	
3 . 特定金銭信託等を構成す		同左	
	NO IMI/A	194	
る信託財産の評価基準お			
よび評価方法			
┃ 4 . デリバティブの評価基準	時価法	同左	
および評価方法			
5.固定資産の減価償却の方	有形固定資産	有形固定資産	
法	建物(建物附属設備を除く)…定額法	同左	
	建物以外定率法		
	なお、主な耐用年数は以下のとおりで		
	あります。		
	建物18~50年		
	建物附属設備3~42年		
	無形固定資産	無形固定資産	
	定額法	無形回足負圧 同左	
		四年	
	なお、ソフトウエアについては、社内		
	の利用可能期間(5年)に基づく定額		
	法を採用しております。		
	長期前払費用	長期前払費用	
	定額法	同左	
6 编延资产の加理主法		10—	
6 . 繰延資産の処理方法	社債発行費は、支出時に全額費用計上	同左	
	されております。		

項目	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
7 . 引当金および特別法上の準備金の計上基準	貸倒引当金 委託者の債権や貸付金等の貸倒損失に 備えるため、一般債権については貸倒 実績率により、貸倒懸念債権等特定の 債権については個別に回収可能性を検 討し、回収不能見込額を計上しており ます。	貸倒引当金 同左
	賞与引当金 従業員に支給する賞与の支出に充てる ため、支給見込額を計上しておりま す。	賞与引当金 同左
	退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事 業年度末における退職給付債務および 年金資産の見込額に基づき計上してお ります。 会計基準変更時差異(680,280千円) は、15年による均等額を費用処理して おります。 数理計算上の差異は、その発生時の従 業員の平均残存勤務期間以内の一定の 年数(5年)による定額法によりそれ ぞれ発生の会計年度から費用処理して おります。	退職給付引当金 同左
	商品取引責任準備金 商品先物取引事故による損失に備える ため、商品取引所法第136条の22の規定 に基づき同法施行規則に定める額を計 上しております。	商品取引責任準備金 同左
8.営業収益の計上基準	受取手数料 イ.商品先物取引 現物先物取引および指数先物取引 については、委託者が取引を転売 又は買戻しおよび受渡しにより決 済したときに計上しております。 また、オプション取引について は、委託者の売付け又は買付けに 係る取引が成立したときに計上し ております。	受取手数料 イ . 商品先物取引 同左
	ロ・商品ファンド 取引成立日に計上しております。 売買損益 商品先物取引損益 反対売買により取引を決済したときに 計上しております。 また、未決済建玉については時価による評価損益を計上しております。	ロ・商品ファンド 同左 売買損益 商品先物取引損益 同左

項目	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
9.リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると	同左
	認められるもの以外のファイナンス・リ	
	- ス取引については、通常の賃貸借取引	
	- に係る方法に準じた会計処理によってお	
	ります。	
10.ヘッジ会計の方法	ヘッジ会計の方法	ヘッジ会計の方法
	金利スワップについては、特例処理の	同左
	要件を満たしておりますので、特例処	
	理を採用しております。	
	ヘッジ手段とヘッジ対象	ヘッジ手段とヘッジ対象
	ヘッジ手段	同左
	金利スワップ	
	ヘッジ対象	
	キャッシュ・フローが固定され、そ	
	の変動が回避されるものおよび相場	
	変動等による損失の可能性があり、	
	相場変動等が評価に反映されていな	
	いもの。	
	ヘッジ方針	ヘッジ方針
	金利等の相場変動に伴うリスクの軽	同左
	 減、資金調達コストの低減を目的に金	
	 利に係るデリバティブ取引を行ってお	
	ります。	
	原則として実需に基づくものを対象と	
	してデリバティブ取引を行っており、	
	ります。 投機目的のデリバティブ取引は行って	
	おりません。	
	へッジ有効性評価の方法	 ヘッジ有効性評価の方法
	金利スワップについては、特例処理の	
	要件を満たしているため有効性の評価	
	を省略しております。	
11 . その他財務諸表作成のた	消費税等の会計処理	 消費税等の会計処理
めの重要な事項	消費税等の会計処理は税抜方式によっ	同左
	て行っております。	
	1	

追加情報

前連結会計年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成16年 4 月 1 日 至 平成17年 3 月31日)
	法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の
	表示について
	「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律第
	9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月1
	日以降に開始する事業年度より外形標準課税制度が導入
	されたことに伴い、当事業年度から「法人事業税におけ
	る外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実
	務上の取扱い」(平成16年2月13日企業会計基準委員会
	実務対応報告第12号)に従い法人事業税の付加価値割お
	よび資本割については、販売費及び一般管理費に計上し
	ております。
	この結果、販売費及び一般管理費が31,579千円増加
	し、営業利益、経常利益および税引前当期純利益がそれ
	ぞれ同額減少しております。

注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成16年3月31日)

- 1. 土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日公 布法律第34号)に基づき、事業用および投資用の 土地の再評価を行い、土地再評価差額金を資本の 部に計上しております。
 - ・再評価の方法…土地の再評価に関する法律施行 令(平成10年3月31日公布政令 第119号)第2条第3号、第4号 および第5号に基づく評価
 - ・再評価を行った年月日...平成12年3月31日
 - ・再評価を行った土地の当期末における時価と再 評価後の帳簿価額との差額...415,466千円
- 2 . 担保等に供している資産の内訳およびこれらに対 応する債務等の内訳は次のとおりであります。

イ.担保資産

(担保資産の内訳)

建物	2,365,512千円
土地	2,444,547
投資有価証券	1,179,720
合計	5,989,779

(対応する債務の内訳)

保証債務	113,810千円
社債	300,000
(うち1年以内の償還分)	(300,000)
短期借入金	310,000
長期借入金	1,274,750
(うち一年以内返済予定の	(430,850)
長期借入金)	(430,630)
合計	1,998,560

口.預託資産

商品取引所法等関係法令、取引所定款等によ り預託すべき取引証拠金および受託業務保証 金の代用として商品取引所に預託している資 産は、次のとおりであります。

有価証券	446,303千円
保管有価証券	1,878,700
投資有価証券	378,114
合計	2,703,117

(注)上記には、自己の未決済玉に係る取引 証拠金の代用有価証券379,122千円を含 んでおります。

なお、商品取引所法第97条の2第4項の規定 に基づき、受託業務保証金の預託に代えて銀 行等と契約している「契約預託金額」は 1,000,000千円であります。

当事業年度 (平成17年3月31日)

- 1. 土地の再評価に関する法律(平成10年3月31日公 布法律第34号)に基づき、事業用および投資用の 土地の再評価を行い、土地再評価差額金を資本の 部に計上しております。
 - ・再評価の方法…土地の再評価に関する法律施行 令(平成10年3月31日公布政令 第119号)第2条第3号、第4号 および第5号に基づく評価
 - ・再評価を行った年月日...平成12年3月31日
 - ・再評価を行った土地の当期末における時価と再 評価後の帳簿価額との差額...435,141千円
- 2 . 担保等に供している資産の内訳およびこれらに対 応する債務等の内訳は次のとおりであります。

イ.担保資産

(担保資産の内訳)

建物	2,302,377千円
土地	2,407,000
自己株式	126,000
投資有価証券	954,000
合計	5,789,377
対応する債務の内訳)	

(対応する債務の内訳)

短期借入金	350,000千円	
長期借入金	1,800,000	
(うち一年以内返済予定の	(504,000)	
長期借入金)	(304,000)	
合計	2,150,000	

口.預託資産

商品取引所法等関係法令、取引所定款等によ り預託すべき取引証拠金および受託業務保証 金の代用として商品取引所に預託している資 産は、次のとおりであります。

保管有価証券	1,620,074千円
投資有価証券	58,364
合計	1,678,438

(注)上記には、自己の未決済玉に係る取引 証拠金の代用有価証券657千円を含んで おります。

なお、商品取引所法第97条の2第4項の規定 に基づき、受託業務保証金の預託に代えて銀 行等と契約している「契約預託金額」は 1,000,000千円であります。

前事業年度 (平成16年3月31日)

八.分離保管資産

商品取引所法第136条の15の規定に基づき所定 の金融機関に分離保管されている資産は次の とおりであります。

預金15,624,497千円金銭信託12,001,000保管有価証券3,521,777合計31,147,275

また、商品取引所法施行規則第43条第1項第4号に基づく、銀行による契約弁済保証額は次のとおりであります。

(株)三井住友銀行

500,000千円

なお、同法施行規則第41条第1項に基づく、 当社が所定の金融機関に預託して分離保管し なければならない資産の金額は29,391,912千 円であります。

イ~ハのほか、長期差入保証金(特別担保金)の 代用として、有価証券389,850千円を差入れており ます。

3. 商品取引責任準備金の積立は、商品取引所法第136 条の22の規定に基づくものであります。

なお、日本商品先物取引協会の定款に基づき、この積立額に相当する額の現金を商品取引責任準備 預託金として日本商品先物取引協会に預託してお ります。

当事業年度 (平成17年3月31日)

八.分離保管資産

商品取引所法第136条の15の規定に基づき所定 の金融機関に分離保管されている資産は次の とおりであります。

預金11,833,773千円金銭信託15,001,000協会預託 (注)10,000保管有価証券2,750,129合計29,594,862

(注)(社)商品取引受託債務補償基金協会へ の預託金であります。

また、商品取引所法施行規則第43条第1項第4号に基づく、銀行による契約弁済保証額は次のとおりであります。

(株)三井住友銀行

500,000千円

なお、同法施行規則第41条第1項に基づく、 当社が所定の金融機関に預託して分離保管し なければならない資産の金額は27,910,118千 円であります。

3.同左

前事業年度 (平成16年3月31日)

4. 委託者の未決済玉に係る値洗差金の商品取引所と の受払精算額で、当該未決済玉に係る売買損相当 額であります。

5.株式の状況

授権株式数 普通株式 27,000,000株 発行済株式総数 普通株式 9,965,047株

ただし、定款の定めにより、株式の消却が行われた場合には、これに相当する株式数を減ずることとなっております。

6. 自己株式

当社が保有する自己株式の数は、普通株式549,466 株であります。

7.保証債務

合計

関係会社の銀行等からの借入金やリース債務等に対し、次のとおり保証を行っております。

(保証先) (保証額)
オカトーショウジ シンガポール
プライベートリミテッド
岡藤情報サービス株式会社 113,810
サン・キャピタル・マネジメント
株式会社 30,000

8 . その他有価証券に準じて処理した長期特定金銭信

託等の評価差額金が含まれております。

当事業年度 (平成17年3月31日)

4.同左

5.株式の状況

授権株式数 普通株式 27,000,000株 発行済株式総数 普通株式 9,965,047株

ただし、定款の定めにより、株式の消却が行われた場合には、これに相当する株式数を減ずることとなっております。

6. 自己株式

当社が保有する自己株式の数は、普通株式670,822 株であります。

7.保証債務

関係会社の銀行等からの借入金やリース債務等に対し、次のとおり保証を行っております。

8.同左

338,115

(損益計算書関係)

前事業年度 (自 平成15年4月1 至 平成16年3月31	日 日)	当事業年度 (自 平成16年4月1 至 平成17年3月3°	日 1日)
1.受取手数料の内訳		1.受取手数料の内訳	
商品先物取引	8,891,098千円	商品先物取引	7,339,234千円
商品ファンド	128,042	商品ファンド	121,524
合計	9,019,140	合計	7,460,758
 2.売買損益の内訳		 2.売買損益の内訳	
商品先物取引	436,182千円	商品先物取引	1,032,476千円
商品売買取引	35,044	商品売買取引	25,985
その他	10,681	その他	-
	460,545		1,058,461
 (注)商品売買取引は、貴金属商品	等の高買取引に ト	 (注)商品売買取引は、貴金属商品	
る売上総利益であります。な		る売上総利益であります。た	
千円であり、売上原価の内訳	•	千円であり、売上原価の内部	
ります。		ります。	(10.1)(10.20)
イ.商品期首たな卸高	181,612千円	イ.商品期首たな卸高	388,084千円
口.当期商品仕入高	957,354	口.当期商品仕入高	698,379
	1,138,966		1,059,264
八.商品期末たな卸高	388,084	八.商品期末たな卸高	371,220
売上原価	750,882	売上原価	715,242
 3.取引所等関係費の内訳		 3.取引所等関係費の内訳	
取引所会費	276,829千円	取引所会費	302,832千円
その他	54,213	その他	68,494
合計	331,043	合計	371,326
 4.人件費の内訳		 4.人件費の内訳	
	181,937千円	役員報酬	160,982千円
従業員給与	3,222,995	従業員給与	2,962,844
賞与引当金繰入額	321,046	賞与引当金繰入額	271,670
退職金	631	退職金	7,500
退職給付費用	161,538	退職給付費用	121,759
福利厚生費	623,798	福利厚生費	604,071
合計	4,511,947	合計	4,128,827
5 .		 5.固定資産売却益の内容	
		車両	349千円
 6.固定資産売却損の内容		6 .	
車両	1,754千円		
 7.固定資産除却損の内容		7 .	
建物附属設備	7,613千円		
器具及び備品	1,459		
合計	9,073		
	,		

リース取引

以外のファイナンス・リース取引

前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの

1.リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

	取得価額相 当額 (千円)	減価償却累 計額相当額 (千円)	期末残高相 当額 (千円)
車両	44,001	24,970	19,030
器具及び備品	1,017,852	471,814	546,037
合計	1,061,853	496,785	565,068

2. 未経過リース料期末残高相当額

1 年内	242,206千円
1 年超	341,178
合計	583,385

3. 支払リース料、減価償却費相当額および支払利息相当額

支払リース料234,007千円減価償却費相当額217,910支払利息相当額22,529

4.減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする 定額法によっております。

5. 利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との 差額を利息相当額とし、各期への配分方法につい ては、利息法によっております。 当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの 以外のファイナンス・リース取引

1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額および期末残高相当額

	取得価額相 当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	期末残高相 当額 (千円)
車両	39,595	23,820	15,775
器具及び備品	997,141	601,574	395,566
合計	1,036,737	625,395	411,342

2 . 未経過リース料期末残高相当額

1 年内	204,760千円
1 年超	224,786
合計	429,546

3. 支払リース料、減価償却費相当額および支払利息相 当額

支払リース料282,636千円減価償却費相当額259,788支払利息相当額22,688

4.減価償却費相当額の算定方法

同左

5 . 利息相当額の算定方法

同左

有価証券

前事業年度および当事業年度のいずれにおいても子会社株式および関連会社株式で時価のあるものはありません。

税効果会計

忧 划未去日		
1.繰延税金資産の発生の主な原因別内訳		
	前事業年度 (平成16年 3 月31日)	当事業年度 (平成17年 3 月31日)
繰延税金資産		
賞与引当金損金算入限度超過額	131,629千円	111,384千円
貸倒引当金損金算入限度超過額	206,111	185,126
退職給付引当金損金算入限度超過額	104,511	117,348
商品取引責任準備金損金不算入額	326,583	328,336
受託債務補償基金負担金損金不算入額	19,624	19,624
未払金否認	3,787	1,526
未払事業税否認	21,392	10,608
投資その他の資産評価損否認	83,804	84,565
関係会社株式評価損否認	142,926	243,885
その他有価証券評価差額金	61,352	33,922
出資金評価損否認	13,207	13,207
その他	9,002	5,642
繰延税金資産の純額	1,123,932	1,155,179
 2.法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との	間の差異の主な原因別の内訳	
	前事業年度 (平成16年 3 月31日)	当事業年度 (平成17年 3 月31日)
法定実効税率 (調整)	42.00%	41.00%
文際費等永久に損金に算入されない項目	9.67	19.11
- 受取配当金等永久に益金に算入されない項目	2.21	5.01
住民税均等割等	3.43	7.27
税率変更に伴う調整額	2.29	-
法人税等の更正決定に伴う調整額	5.75	-
その他	1.93	0.86
税効果会計適用後の法人税等の負担率	58.28	63.23

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
1 株当たり純資産額1,670.27円1 株当たり当期純利益22.62円	1株当たり純資産額1,681.55円1株当たり当期純利益8.99円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
当期純損益(千円)	246,319	103,970
普通株主に帰属しない金額(千円)	25,000	20,000
(うち利益処分による役員賞与金 (千円))	(25,000)	(20,000)
普通株式に係る当期純損益(千円)	221,319	83,970
普通株式の期中平均株式数(千株)	9,782	9,343

(重要な後発事象)

(重要な後発事象)	
前事業年度 (自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日)	当事業年度 (自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)
	当社は、平成16年12月10日開催の臨時株主総会におい
	て、株式移転による完全親会社設立の件ならびに会社分
	割計画書承認の決議を行っております。その決議に基づ
	きまして、平成17年4月1日付で株式移転による完全親会
	┃ 社を設立し、平成17年4月4日付で新設分割の方法により
	分割会社を設立しました。
	新会社の概要は下記のとおりです。
	記
	1 . 完全親会社
	商号 岡藤ホールディングス株式会社
	事業内容 傘下グループ会社の経営管理お
	よびそれに付帯する業務
	本店所在地 大阪市中央区本町三丁目2番11号
	取締役および監査役 代表取締役 加藤雅一
	代表取締役 馬場重久
	取締役中村紀夫
	取締役新越雄作
	取締役 林田清
	取締役 松井政彦
	取締役 鈴木 均
	監査役 山口晃志郎 財政主義
	監査役 松谷圭輔
	監査役 近藤史朗
	資本金 5 0 億円 B 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
	資本準備金 株式移転の日に当社に現存する
	純資産額の合計額から、上記資
	本の額を控除した額
	発行済株式総数 9,965,047株
	決算期 3月31日
	会計監査人東陽監査法人
	上場証券取引所 ジャスダック証券取引所
	2.分割会社
	商号 岡藤ビジネスサービス株式会社
	事業内容事務管理統括業務およびそれに
	付帯する業務
	本店所在地 大阪市中央区本町三丁目2番11号
	取締役および監査役 代表取締役 加藤雅一
	代表取締役 馬場重久
	取締役 林田 清
	取締役 松井政彦
	監査役 山口晃志郎
	監査役 松谷圭輔
	監査役 近藤史朗
	資本金 4億円
	資本準備金 商法第288条ノ2第1項第3号ノ2の
	超過額
	発行済株式総数 8,000株
	決算期 3月31日
	分割により減少した当社の資本の額および資本準備金
	資本金 4億円
	資本準備金 3億7千万円
	貝

役員の異動

岡藤ホールディングス株式会社の役員の異動はありません。